

総合計画をどのように点検評価するか  
—芽室町総合計画審議会—

20230725

北海道大学公共政策大学院 山崎幹根

はじめに

- ・「外部評価」の意味はどこにあるのか 前提としての PDCA サイクル
- ・住民参加型の総合計画の点検評価を行うことの意義。他自治体では見られない芽室町の良き伝統
- ・住民による「外の目」の重要性（レイマン・コントロール）。
- ・絶対的、客観的な評価の方法・基準が確立しているわけではないことに留意。
- ・ベターな方法を使うことに対する合意を形成することの重要性。

1、施策評価のアプローチ —施策評価する視点

- ① ふつうの住民の視点
- ② 民間（納税者）の視点
- ③ 自治の担い手、協働の担い手としての視点

2、評価シートをどのように読み解くか —「数」の評価と「質」の評価

- ① 目標値が達成されているか、未達成か。「その要因は何か」を考えることが重要。
- ② 時系列比較（経年の比較）
- ③ 参考として他の自治体の傾向・施策事業との比較  
—類似自治体、近隣自治体の動向
- ④ 考慮すべき社会経済的な要因と変動はあるか  
—一国の地方財政、コロナウィルス感染（対策）、ウクライナ情勢など
- ⑤ 住民の側から考慮すべき点、町政へのかかわり方  
—自治の「質」を高めるために
- ⑥ 「数字の一人歩き」への留意

3、はじめの手がかりとして・・・

- ① 先ずは、分からないこと、不明な点をなんでも尋ねてください。数字の意味、具体的な事業の内容など・・・
- ② 一住民の立場から、遠慮なく意見を出してください。議員さんとの違い。
- ③ 特段の準備は必要ありません。可能であれば「すまいる」や町の公式HPに目を通しておくと、施策のイメージを具体的に持つことが容易になります。